

令和7年上半期火災・救急・救助概要について

火災概要

令和7年上半期(1月～6月)の火災件数は7件で、前年に比べ1件減少しました。
建物火災は5件で、前年に比べ1件減少しています。そのうち住宅火災については4件で前年に比べ3件増加しました。また、火災による死傷者は4名(死者1名、負傷者3名)で建物火災で発生しています。
損害額については34,046千円で、前年に比べ7,038千円減少しています。
出火原因別にみると「ストーブ」「電気機器」「たばこ」等が主な原因となっています。

年			区分		令和7年(上半期)	令和6年(上半期)	増減
火災件数	建物火災				5(住宅4)	6(住宅1)	▲ 1
	林野火災				0	1	▲ 1
	車両火災				1	1	0
	船舶火災						
	航空機火災						
	その他火災				1		1
	合計				7	8	▲ 1
焼損棟数					5	8	▲ 3
り災世帯数					4	3	1
面焼積損	建物床面積（㎡）				497	463	34
	建物表面積（㎡）				7	74	▲ 67
	林野（a）					4	▲ 4
損火害額（千円）別	建物	建物		27,561	20,829	6,732	
		収容物		6,264	20,105	▲ 13,841	
	林野						
	車両			220	150	70	
	その他			1		1	
	合計			34,046	41,084	▲ 7,038	
	死者数					1	
負傷者数					3	3	0
焼火損元程建物度	全焼				2	1	1
	半焼				1	1	0
	部分焼				1	1	0
	ぼや				1	3	▲ 2

救急概要

令和7年上半期(1月～6月)の救急出動件数は2,635件で、前年同時期に比べ22件、0.8%の減少となりました。1日あたりの平均件数は15件でした。

5年前の同時期と比較すると、821件、45%の増加となっています。

全体の搬送者のうち、約72%が65歳以上の高齢者でした。

搬送人員は2,285人で、小松市民の約46人に1人が利用したことになります。傷病程度別では搬送した傷病者のうち、中等症者が約45%、軽症者が42%でした。

区分		年	令和7年(上半期)	令和6年(上半期)	増減
救急出動件数	急病		1,674	1,700	▲ 26
	交通事故		124	151	▲ 27
	一般負傷		482	436	46
	転院搬送		271	242	29
	その他		84	128	▲ 44
	合計		2,635	2,657	▲ 22
救急搬送人員	急病		1,425	1,518	▲ 93
	交通事故		104	118	▲ 14
	一般負傷		440	398	42
	転院搬送		270	243	27
	その他		46	92	▲ 46
	合計		2,285	2,369	▲ 84
傷病者搬送人員別	高齢者		1,641	1,631	10
	成人		516	552	▲ 36
	少年		49	61	▲ 12
	乳幼児		77	124	▲ 47
	新生児		2	1	1
傷病程度別	死亡		63	82	▲ 19
	重症		251	222	29
	中等症		1,017	998	19
	軽症		954	1,067	▲ 113

救助概要

令和7年上半期(1月～6月)の救助出動件数は24件で、前年同時期に比べ7件減少しています。

救助活動件数は18件、救助人員は18人と前年同時期に比べ減少傾向にあります。事故種別の内訳として「交通事故」が9件と割合の多くを占めています。

区分		年	令和7年(上半期)	令和6年(上半期)	増減
出動件数			24	31	▲ 7
活動件数			18	21	▲ 3
救助人員			18	23	▲ 5